

所属・氏名（ 看護学部 看護学科 氏名：藤井 清美 ）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (学術論文) 自閉症スペクトラム障害児をもつ母親の主観的な基本的欲求が満たされていない状況	共著	2020 年 3 月	日本看護福祉学会誌 25(2), pp.1-18	本研究は ASD 児をもつ母親の主観的な基本的欲求が満たされていない状況を明らかにすることを目的とした。ASD 児の母親 10 名へ半構成的面接をし、質的帰納的に分析した結果、4 つのコアカテゴリが抽出された。特に「愛・所属の欲求」の未充足が母親の生活の質に大きく影響していることが示された。 共同著者: <u>藤井清美</u> 、牛尾禮子 (共同研究につき本人担当部分抽出不可能)
2 (学術論文) 選択理論における子育て期にある母親の基本的欲求充足の構造—定型発達児の母親と発達障害児の母親からの検討—	単著	2024 年 6 月	選択理論心理学研究 17(1), pp.2-19	本研究は母親の 5 つの基本的欲求の構造を明らかにし、定型発達児の母親と発達障害児の母親における欲求充足の違いを検討した。質問紙調査データに対し探索的・確認的因子分析を行った結果、基本的欲求は「母親としての基本的心理欲求」と「自由に楽しむ欲求」の 2 因子に整理され、両者の関連が確認された。さらに、発達障害児の母親は前者の欲求充足が低く、母親としての自信や成長を支える支援の重要性が示唆された。 担当部分: 全般 <u>藤井清美</u>
3 (学術論文) 選択理論における発達障害児をもつ母親の基本的欲求と内的コントロール・育児困難感との関連—定型発達児の母親との比較—	単著	2025 年 8 月	選択理論心理学研究 18(1), pp.2-30	本研究は、発達障害児をもつ母親の基本的欲求・内的コントロール・育児困難感の関連を明らかにした。各尺度に因子分析を行い、多母集団同時分析を実施した結果、発達障害児の母親では「母親としての基本的心理欲求」のみが育児困難感に影響しており、母親としての承認や肯定感が精神的健康の維持に重要であることが示唆された。 担当部分: 全般 <u>藤井清美</u>
4 (報告・発表) Impact of Childrearing Difficulties on Mothers' Perception of Basic Needs	単独	2021 年 4 月	24th East Asian Forum of Nursing Scholars (Philippine: online)	本研究は、西日本の乳幼児の母親の基本的欲求、内的コントロール、育児困難感の関連を明らかにした。母親 412/919 名に質問紙調査を実施し、各尺度得点を用いて探索的因子分析および共分散構造分析を行った。その結果、母親の基本的欲求は 2 因子、内的コントロールと育児困難感とは各 3 因子であった。また、基本的欲求と育児困難感の間には負の相関がみられ、他人を責めることと育児困難感には正の相関が認められた。 研究全般・発表者: <u>藤井清美</u>
5 (報告・発表) Impact of Basic Needs of Mothers with Children of Developmental Disabilities on Childcare Difficulties Feeling: From a Comparison with Mothers of Children with Typical Development	単独	2022 年 10 月	The 7th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science (Taipei City: online)	本研究は、西日本の発達障害児の母親 177 名と定型発達児の母親 742 名に質問紙調査を行い、基本的欲求、内的コントロール、育児困難感の関連を検討した。各尺度得点を用いて探索的因子分析および多母集団同時分析を行った。その結果、両群に共通して、母親としての基本的心理欲求の充足状況が、育児困難感や抑うつ、攻撃性・衝動性と関連することが示され、母親の欲求充足に着目した支援の重要性が示唆された。 研究全般・発表者: <u>藤井清美</u>

令和 8 年 4 月 21 日 現在